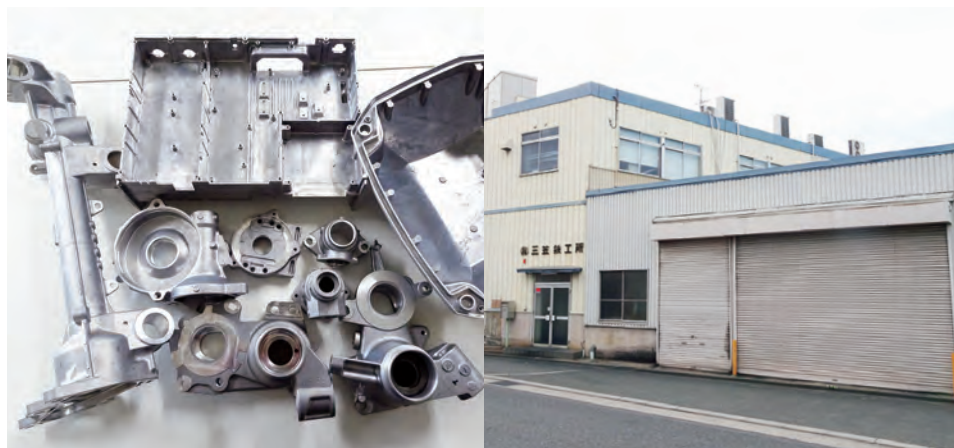


株式会社 三笠鉄工所

創業67年、成長し続ける加工の プロフェッショナル集団

納期相談
コスト相談
メイン・ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



アルミダイカスト部材の加工(左)、本社外観(右)

主な事業内容

輸送用機械器具・
産業機械用部品製造、金属加工

主な取引先(納入先)

大手自動車部品メーカー、
輸送用機械器具部品メーカー

主な製品

アルミダイカスト製センサーハウジング、
バルブハウジング、チューブハウジング

業務内容 大手自動車部品メーカーの 高い信頼度を誇る

三笠鉄工所は、昭和30年に創業し、今年で67年を迎える。自動車のステアリング部品に使われるハウジング部の切削や穴あけ加工を中心に業績を上げており、各種産業機械の部品や船舶部品などの製造も手がける。「当初はゼロからのスタートで苦労の連続でした」。平成25年に就任した七代目の三笠剛三社長は、当時をこう振り返る。事業承継などの課題を抱えながらも経営の立て直しに奔走し、また、若手社員を中核とした組織編成を追求し、社員の知恵を融合することで顧客から支持される加工技術を磨き上げた。現在も成長し続ける加工のプロフェッショナル集団である。

強み 充実した保有設備と 強固な検査体制

QCDに係る要求事項が厳しい自動車業界において、約60年以上にわたる改善活動を土台に、図面段階からのVA/V E提案を積極的に行うことで信頼を勝ち得てきた。また、充実した設備も同社の強み。最新の5軸や横型マシニングセンタなど計127台の各種設備に

成長戦略 異業種展開と 社員の幸福度を追求

加え、三次元測定機や真円度測定機などを新たに設置。万全の検査体制により品質確保につなげている。加えて、社員教育にも余念がない。製造現場では、新入社員とベテランによるマンツーマン体制を構築し、コミュニケーションを通じて技術力の向上、さらには製造ミスの撲滅につなげている。

このような自動車業界向けで培った技術と品質、納期遵守率100%の実績をもとに、異業種展開を推進。多品種少量生産への対応力を強化している。また、全員参加型の経営による成長戦略を描いている。そのカギとなるのは、やはり人材。同社の従業員の平均年齢は37歳と、同業に比して若い世代が多い。管理職やベテラン社員との垣根を取り払い、若手社員も経営にコミットできる環境づくりに努めている。

EV(電気自動車)化が必至の自動車業界は、100年に一度の大転換を迎えているとされる。それゆえに、人材育成を図りつつ社員全員の団結力を強化することで、この荒波を乗り越えようとしている。

社長あいさつ



代表取締役社長

三笠 剛さん

創業67年を迎える当社は、自動車部品を中心に多様な加工を手がけています。「従業員がやりがいのある会社、顧客から頼られる会社、社会と共感できる会社」をモットーに日々、業務に当たり、また若手社員が多いため、自由な社風で連帯感が強いです。今後も全社員一丸となって、お客様からより一層信頼いただけるよう努める所存です。

主な保有設備

- NC旋盤 LCS-15ほか
オークマ製 54台
- マシニングセンタ
ROBODRILLシリーズほか
ファナック製ほか 35台
- 横型マシニングセンタ
MB-5000HII オークマ製 1台
- 5軸マシニングセンタ M300X3
ブラザー工業製 1台
- 三次元測定機 Mju-02
東京精密製 1台

ISO 9001

住 所／〒581-0035
八尾市
西弓削1-47
TEL／072-949-0216
FAX／072-949-4169
創 業／昭和30年
設 立／昭和39年
資本金／1,200万円
従業員／71名



5軸マシニングセンタ



横型マシニングセンタ



<http://www.mikasa-iw.com/>